



好きなお酒は何ですか？

会員 高橋 弘行 (65期)

弁護士は、お酒が好きな人が多い職業ですね、とよく言われます。同業者、依頼者、等々、人とかがかわることが多いからでしょうか。お酒を飲まない人もいますが、酒席、会食の機会はやはり多いのではないかと思います。

お酒好き、と一言で言っても、飲み物としてのお酒自体が好きな人、酒席が好きな人、両方が好きな人、色々なタイプがあるように思います。お酒が強くなっても酒席が好きな人もいますよね。

私は、お酒も酒席も大好きなのですが、酒席で会話がスムーズに進むお酒についての会話、といいますが、自分が聞かれたら話をしやすいお酒についての質問について、少しだけ述べたいと思います。

酒席では、目の前にお酒のメニューがあり、注文後に運ばれてきて、口にするので、お酒のネタは、とっかかりの話題としては使いやすいものです。双方の共通の話題、双方が目にしてるものを話題のきっかけにするというのは、円滑なコミュニケーションのためには大事なことですよね（例えば、何を話していいかわからない相手には、ひとまず、天気の話をするのが定石とされているように）。

さて、具体的に、酒席をともにするのが初めての相手に対して、よく行なう会話・質問としては、

普段はどんなお酒を飲みますか？

好きなお酒は何ですか？

どこで飲むことが多いですか？

どのくらいお酒は飲みますか？

お酒の飲み方で、注意していることはありますか？

二日酔いにはなりますか？

記憶をなくしたことはありますか？

等々、色々なものがあると思います。

どれも、ありきたりと言えそうですが、意外と奥の深い質問でもあって、お酒をとおして、お酒の好みのみ

ならず、その人の普段の生活スタイル、過去の経験、おかげさ言えば人生哲学まで、気軽に質問できてしまいます。

私のように、お酒も酒席も好きな人間からすると、質問された内容は、いくらでも語りたくなってしまふものばかりです。

例えば、「好きなお酒は何ですか？」という質問に対しては、ワイン、赤白、重め軽め、という大きなくくりだけでなく、ブドウの種類、産地、等々、細かいところまで語りたくなってしまいますし、そのようなこだわりは、ウイスキー、日本酒、焼酎にもそれぞれあつたりします（もちろん、相手の反応によって、どの程度細かく話すかは調整します。語り過ぎると、イヤな奴だと思われてしまいますし。ただ、そのあたりの相手の反応をみながら話すことも楽しいものです）。

もしそのこだわりが、相手にも伝わったり、ましてや好みと一緒にだつたりすると、それだけでとても気の合う相手だと親近感を感じることが出来ます。

このようにお酒は、それを飲むことだけでなく、話題にしやすいことで、「飲みニケーション」（死語ですが笑）と呼ばれる効果を発揮するものだと、個人的には思っているところです。その意味で、お酒が強いか否か、は、「飲みニケーション」にとって必須なものではありません。

酒席の場でも、自分がお酒を飲んでも飲まなくてもよいので、特にお酒が好きと言っている相手には、上記のような質問をして、その人が語りた部分を把握し、その人が大事にしていることを理解すると、円滑なコミュニケーションがとれるのではないかと、独断と偏見ながら思うところです。

「好きなお酒は何ですか？」

機会があれば、是非とも色々な人と酒席をともにしたいものです。

